

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	2-3-1		事業名	魅力ある食づくり推進事業
担当	経済局農政部農業支援センター地産地消推進係 米嶋 TEL787-2220			
全体計画				
事業内容	果実などを主体とした地元食材の見本市(さっぽろスイーツマルシェ)の開催や、魅力ある農産加工品の開発、ブルーベリーなどの小果樹の試験栽培を行うなど、地元農産物の需要喚起と販路拡大を図る。		＜年度別の事業内容＞	
			<p>平成19年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元農産物の見本市(さっぽろスイーツマルシェ)の開催 ・一次加工品の需要調査(ペーストの試作モニタリング) ・小果樹類の試験栽培(品種・品目の比較検討、現地展示園設置) <p>平成20年～22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元農産物の見本市(さっぽろスイーツマルシェ)の開催 ・一次加工品の需要調査(ペーストの試作モニタリング) ・ベリークラスター(食材研究会)活動支援(現地見学会実施) ・契約栽培モデル(いちご・小果樹類栽培)の実施 ・小果樹類の試験栽培(品種・品目の比較検討、現地展示園設置) 	
事業内容 量 場 所 規 模 件 数 等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元農産物の見本市(さっぽろスイーツマルシェ)の開催 地元農産物を素材とした商品開発の支援及びブランド化を推進することを目的として果実等を主体とした地元食材の見本市を開催し、生産者と実需者である食品製造関係者の活発な情報交換を促し、生産物の販路拡大を図った。(見本市開催1回 17店 200名参加、現地見学会開催1回 26名参加、市内2農園、近郊1農園を紹介) 1,164千円 ・一次加工品の需要調査 規格外品や余剰生産物をペースト状に加工して企業での食材としての需要を調査、また小果樹の品目、品種の見極め、ペーストの試用評価の実施。(20店参加) 662千円 ・小果樹類の試験栽培 ブルーベリー等の小果樹類を試験栽培し、栽培の可能性と将来的な需要調査の実施。実需者及び生産者を対象とした小果樹類の勉強会の実施 545千円 <p style="text-align: right;">(決算額:2,371千円)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・地元農産物の見本市(さっぽろスイーツマルシェ)の開催 地元農産物を素材とした商品開発の支援及びブランド化を推進することを目的として果実等を主体とした地元食材の見本市を開催し、生産者と実需者である食品製造関係者の活発な情報交換を促し、生産物の販路拡大を図った。(見本市開催2回 22店 390名参加、現地見学会開催1回 70名参加、市内1農園、近郊1農園紹介) 1,227千円 ・一次加工品の需要調査 規格外品や余剰生産物をペースト状に加工して企業での食材としての需要を調査、また小果樹の品目、品種の見極め、ペーストの試用評価を実施。(17店参加) 717千円 ・小果樹類の試験栽培 ブルーベリー等の小果樹類を試験栽培し、栽培の可能性と将来的な需要調査の実施。 769千円 <p style="text-align: right;">(決算額:2,713千円)</p>	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元農産物の見本市(さっぽろスイーツマルシェ)の開催 地元農産物を素材とした商品開発の支援及びブランド化を推進することを目的として果実等を主体とした地元食材の見本市を開催し、生産者と実需者である食品製造関係者の活発な情報交換を促し、生産物の販路拡大を図った。(見本市開催1回 20店 200名参加、現地見学会開催1回27名参加、市内2農園及び1直売所紹介) 629千円 ・一次加工品の需要調査 タマネギ規格外品や余剰生産物をペースト状等に一次加工して企業での食材としての需要調査を実施。 520千円 ・小果樹類の試験栽培 ブルーベリー等の小果樹類を試験栽培し、栽培の可能性と将来的な需要調査の実施。 738千円 <p style="text-align: right;">(決算額:1,887千円)</p>		<p>(地産地消推進事業へ統合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元農産物の見本市(さっぽろスイーツマルシェ)の開催 地元農産物を素材とした商品開発の支援及びブランド化を推進することを目的として果実等を主体とした地元食材の見本市を開催し、生産者と実需者である食品製造関係者の活発な情報交換を促し、生産物の販路拡大を図った。(見本市開催1回) 178千円 ・農商工連携の取り組み これまで実施してきたタマネギなどをペースト加工したものの需要調査や、小果樹類を試験栽培の結果などをもとに、石狩振興局や市農協など関係機関と連携しながら、生産・加工・販売が一体となった農産物の生産振興を検討した。 45千円 <p style="text-align: right;">(決算額:223千円)</p>	

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-3-1			事業名	魅力ある食づくり推進事業		
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)
スイーツマルシェ出展数		20店	17店	22店	20店	13店	25店
スイーツマルシェ集客数		350人	200人	390人	200人	319人	500人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 札幌産農産物に関する情報提供・事業PR</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] 製菓製造・販売、レストランなど企業にたいする地元農産物に関する情報提供 [その他の協力] 小果樹等の食味調査(製菓関係者22人参加)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)				課題			
<p>・地元の多様な食材を、効率よく実需者へ紹介することができた。</p> <p>・生産者と食品製造関係者の交流の機会を提供することができ、地産地消に結び付けられた。</p> <p>・地元食材を用いた新たなブランド商品開発が期待できる。</p> <p>・スイーツ王国さっぽろのイベントと同時開催を行っており、22年度については会場の問題等で出展数は減少したが、集客数では目標までには達していないものの増加することができた。</p> <p>●タマネギ加工品の試作実績 製菓業 3店、3品目/製パン業 1店、2品目/飲食店 2店、2品目/ 生産者 1社、3品目/その他 2品目</p> <p>●商品化例 イチゴ(サトホロ)…ジェラート、マルボーロ タマネギ(さつおう)…ラーメン、パイ(スイーツコンテストギフト部門グランプリ)</p>				<p>・スイーツマルシェ集客数につき、目標を下回っている状況から、これまで以上に、スイーツ関係イベントのみならず、食品加工業者などの会合等の機会を捉え、農業生産者食品加工・販売関係者の結びつきを提供していく。</p> <p>・地元農産物の幅広い地域内流通システムの確立</p> <p>・札幌の「食」の魅力づくりのための地元農産物のより一層の活用方策の研究</p> <p>・サトホロ・小果樹類などの魅力的作物の生産拡大策</p> <p>・実需者の求める加工性状や消費者の嗜好が多様化する中で、加工・販売業者、生産者の連携の強化と、より魅力的な加工品の開発</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>「顔の見える農業推進事業」と合わせて「地産地消推進事業」へ統合</p> <p>●タマネギ、小果樹類の試験栽培や一次加工品の需要調査結果を精査し、有望品目については関係機関との連携を図りながら生産振興を推進し、安定供給体制の確立を図る。</p> <p>●今後は市内はもとより、近接する石狩管内の加工業者等の実需者と市内洋菓子店等との結びつきをも視野に入れた展開など、柔軟な展開について検討する。</p> <p>●生産者と実需者の現地研修会など様々な交流を図るとともに、これまで商品化したものについてパンフレット等を作成し積極的にPRを行い情報提供を行う。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		2-3-1		事業名	魅力ある食づくり推進事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	
		市の債	0	0	0	0	
		その他の	0	0	0	0	
	一般財源	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000	
予算	事業費	3,000	3,000	2,700	2,000	10,700	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	
		市の債	0	0	0	0	
		その他の	0	0	0	0	
	一般財源	3,000	3,000	2,700	2,000	10,700	
実績	事業費	2,371	2,713	1,887	223	7,194	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	
		市の債	0	0	0	0	
		その他の	0	0	0	0	
	一般財源	2,371	2,713	1,887	223	7,194	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)				60.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》							
[19年度]							
[20年度]							
[21年度]							
[22年度]これまでの取り組みを農商工連携事業への移行するにあたり、関係機関と方向性などの検討を始めた。方向性等が定まるまで、一次加工需要調査業務の実施は一時凍結した。また、農産物見本市会場の見直しにより差額が発生した。							